科目名	経営管理論Ａ　　Business administration A						
科目担当者	柚原 知明　　YUHARA Tomoaki						
単位数	２	配当年次	２年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	・本授業の概要は,「経営の誕生と経営管理の生成」「経営管理の歴史的変遷」「組織のデザイン」「経営戦略論」「経営資源の管理」を主要なテーマとして経営管理論に関わる基礎理論と経営管理の実態について解説を行う。また,基礎理論の解説がベースとなるが，DX(デジタル・トランスフォーメーション)等の最先端の技術革新を活用した先鋭的な領域やグローバル経営にも触れながら，基礎理論と具体的な事例について解説を行う。						
授業の到達目標	①　経営学における主要な柱である経営管理論の歴史的な発展過程を踏まえ，企業組織を中心とした経営管理を巡る基礎的な諸理論について理解出来る。 ②　経営管理論における基礎的な諸理論の理解を踏まえて，社会科学に対する深く“考える力”の涵養を図る。						

授業計画・内容		
	1	ガイダンス
	2	経営の誕生と経営管理の生成
	3	経営管理の歴史的変遷(近代企業の生成)
	4	経営管理の歴史的変遷(所有と支配の分離)
	5	経営管理の歴史的変遷(財閥の形成と解体)
	6	経営管理の歴史的変遷(ヨコの企業集団の生成)
	7	経営管理の歴史的変遷(M&A と組織能力)
	8	組織のデザイン(C.I. Barnard の組織論)
	9	組織のデザイン(機能別組織，事業部制組織，マトリックス組織, etc)
	10	経営戦略論(発展の歴史変遷，今日の理論)
	11	経営戦略論(競争戦略，グローバル戦略)
	12	経営戦略論(経済合理性と社会性の融合)
	13	経営資源の管理(伝統的な資源管理，情報資源，組織能力)
	14	経営資源の管理(知識資源とイノベーション)
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	・毎回の授業の範囲をテキスト等の熟読で予習し，理論の内容や専門用語の意味等を調べる(毎週 2 時間程度)。
授業外学修 (事後学修)	・毎回の授業後の内容をテキストや配布したスライド等で復習し，理論の内容や専門用語の理解を深める(毎週 2 時間程度)。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	・定期試験の結果を評価する。 ・2～3 回程度の課題レポート提出内容を評価する。	80% 20%	① ②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	・塩次喜代明・高橋伸夫・小林敏男〔2009〕『経営管理』有斐閣
参考文献	・C.I. Barnard〔1938〕*The Functions of the Executive* , Harvard University Press.(山本安次郎ほか訳〔1968〕『経営者の役割』ダイヤモンド社。) ・Daivid J. Colins and Cynthia A. Montgomery〔1998〕*Corporate Strategy: A Resource Based Approach*, McGraw-Hill.(根来龍之・蛭田啓・久保亮一訳〔2004〕『資源ベースの経営戦略論』東洋経済新報社。) ・Richard L. Daft〔2001〕*Essentials of Organization Theory & Design* ,2nd Edition, South-Western College.(髙木晴夫訳〔2002〕『組織の経営学』ダイヤモンド社。)
その他	